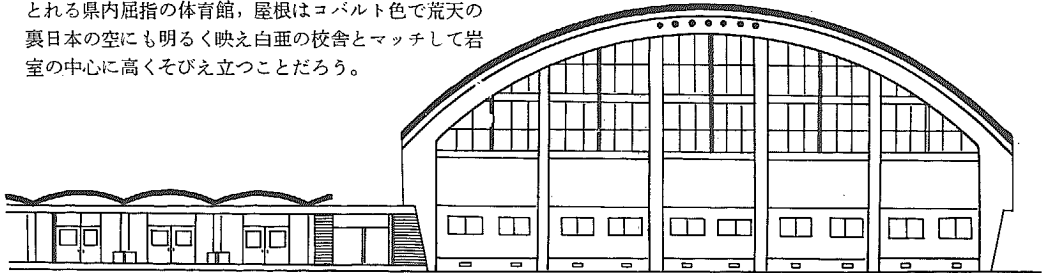


◀和小学校給食で文部大臣賞受賞の栄冠

昭和35年給食開始、給食の運営と指導優良で第17回全国学校給食研究協議大会席上文部大臣賞受賞、県教委より給食研究指定校業績優良で感謝状と二つの喜び、和納校伝統精神「何事もやるならば、とことんまできわめる」と校長以下全先生と父兄の努力のたまもの、学校給食を通じ家庭での食生活—栄養—食事作法—望ましい社交性、食事についての正しい理解の改善とさらに大きな目標に向って進む。

▼教室の窓から声援を受けて進む岩中屋内体育館

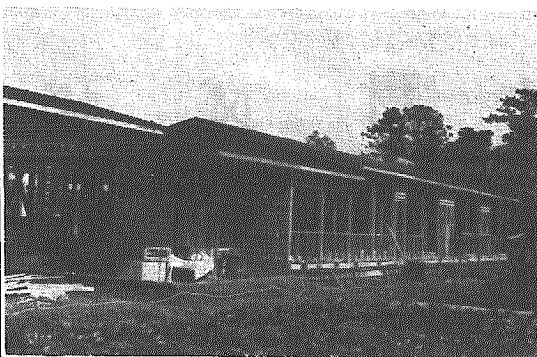
教育村岩室をさらに充実のため、総建築額41,042千円で建設急ビッチ、バスケット2面、バレー2面等がとれる県内屈指の体育館、屋根はコバルト色で荒天の裏日本の空にも明るく映え白亜の校舎とマッチして岩室の中心に高くそびえ立つことだろう。



岩中体育館完成予想図

▼動く台所

忙しかった農繁期も終り、晴天に恵まれた秋の一日、キッチンカーによる高血圧の食事指導が行なわれた。村でも全国でも、死亡原因の第1位は脳卒中（中風）である。その治療、予防に一番大切なのは毎日の食生活である。出来上った料理を実際に試食して見て、自分で作る味加減とどのように違うかを、熱心に勉強していた。（夏井部落にて）



▲待望の和納保育所建設

建築費総額6,366千円で10月7日上棟式を終え12月15日竣功予定、入所定員100名、建物面積370㎡（約150坪）完成後常設保育所として運営されます。



間瀬地区婦人学級
とき 14日午後7時半
ところ 間瀬小学校
講義 「母とくらし」
講師 竹内住民課長殿

編集日記

十月〇日

外は雨、今日の仕事の計画は団体関係記事集め、雨で外は寒い、計画変更と思いの机に向う。同室の保健婦雨の中家庭訪問に飛び出す。彼女に負けてなるものかと編集子も外に飛び出す。外はやはり寒い。編集子我は公僕だと自分自身に言いきかせ雨の中、こんなことは村民に満足してもらおう広報発行おぼつかない。

努力だ／がんばれ
十月〇日

切過ぎて記事が集まった。記事を前にして記事の選択、あれもこれも紙面にと惑う。広報が村民に喜ばれ親密に結ばれるためには、村民の皆さんに書かれた記事が必要と思う。皆さん一人一人が編集子になったつもりで……本号もどうか発行できる状態……、すぐ印刷所で印刷だ……、急に停電。停電で電気のありがたさがしみじみ感じさせられた。（いわむろ）も村民から、発行しなかつたら、不便さを感じさせる位に立派な紙面にしたい。